

朝日町立義務教育学校 地質調査結果概要

義務教育学校予定地の地質状況を把握するために、北側の盛土ののり尻付近で実施調査ボーリングを2本実施しました。

この結果、予定地には固結した硬いシルト岩を基盤として、この上に層厚 7m程度の段丘堆積物が分布していることが確認されました（表-1、図-1）。

段丘堆積物の表層にはN値が1～6程度の粘土や砂質粘土が、厚さ3m弱で分布していますが、段丘堆積物の下部は砂礫や玉石混じり砂礫が分布しています。

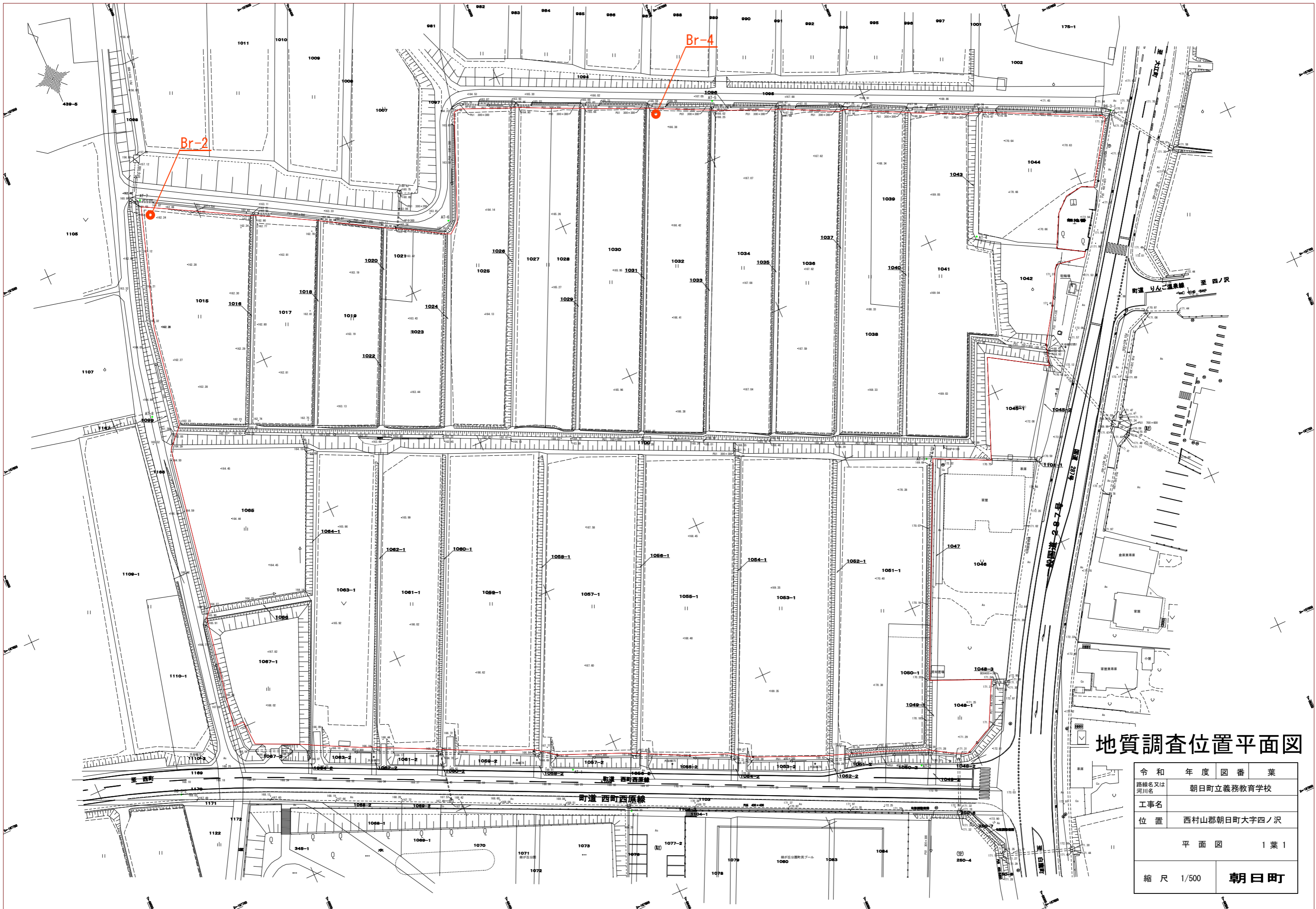
以上のように、義務教育学校の造成にあたって問題となるような、軟弱な地層は確認されませんでした。

表-1 義務教育学校建設予定地の地質層序表

地質時代	地層名	記号	おもな土質・岩盤	確認層厚 (m)	N値 測定範囲 平均N値 標準偏差 (測定個数)	設計N値 (換算N値)	記事	説明	
第四紀 完新世	現世 表土	Ts	粘土 有機物混じり粘土	0.3～0.8	-	-	現況の耕作土で、有機物混じり粘土や粘土からなる。粘着性が高い。	表土 (耕作土)	
	第1段丘堆積物	ti1	粘土 砂質粘土	1.25～2.3	1～6 4 2.7 (3)	2	粘土は、含水量が中位で粘着性が強い。砂質粘土は、含水量が中位で固結みである。Br-4孔の下部では砂分が多くなっている。	段丘堆積物 表層	
		第2段丘堆積物	ti2	中砂	1.0	15 15 -	-	Br-4孔のみで確認され、粒径が不均一で粗砂・細礫を若干混入する。含水量が多い。	段丘堆積物 下部
		第3段丘堆積物	ti3	砂礫	1.5～3.0	16～115 56 36.5 (5)	35	Br-2孔では最大φ20mm程度の垂円～垂角礫を主体とし、マトリックスは細～中砂を主体とする。Br-4孔では最大φ60mm程度の円礫を主体とし、風化礫が多い。	
		第4段丘堆積物	ti4	玉石混じり砂礫	1.8～2.7	71～107 87 78.2 (5)	75	最大φ300mm程度の花崗岩礫が見られ、礫分が多い。マトリックスは粗砂を主体とする。含水量が非常に多い。	
新第三紀 後新世 中新世	大暮山層	Ogm	シルト岩 細粒砂岩	2.61～2.83	65～188 129 58.1 (6)	95	送水掘りで棒状～柱状コアとして採取される。	基盤岩	



図-1 ボーリング結果概要図 (Br-2 孔)



地質調査位置平面図

令和	年度	図番	葉
路線名又は 河川名		朝日町立義務教育学校	
工事名		西村山郡朝日町大字四ノ沢	
位置		平面図 1 葉 1	
縮尺		1/500	朝日町

ボーリング柱状図

調査名 令和6年度朝日町立義務教育学校測量・地質調査及び造成設計業務

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	Br-2		調査位置	朝日町大字四ノ沢地内			北緯	38° 18' 30.7513"			
発注機関	山形県朝日町			調査期間	令和6年10月24日～6年11月5日		東経	140° 9' 12.2317"			
調査業者名	国際航業株式会社 電話(022-299-2794)		主任技師	増戸保明		現代場代理人	コア鑑定者	近藤敏光	ボーリング責任者	齋藤篤	
孔口標高	162.2m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	東邦地下工機製D-1型	ハンマー落下用具	半自動式
総掘進長	10.23m	度	0°	向		試錐機	エンジン		ヤンマー製NF110	ポンプ	東邦地下工機製BG-3B型

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験	試験名および結果	試料採取番号	採取方法	室内試験 (掘進月日)
										深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値					
161.90	0.30	0.30		表土	暗褐色			粘土主体で木根混入。		1.15	0/20	1/15	1/35					
160.60	1.30	1.60		粘土	暗褐色			塊状の層理見られる。含水量中位で粘着性強い。		2.15	1/8	2/12	3/30					
159.60	1.00	2.60		砂質粘土	淡青灰			淡青灰色を基調とし、褐色の部分を含む。含水量中位で固結さみ。		2.45	1/8	2/12	3/30					
156.70	2.90	5.50		砂礫	褐色			上部の含水量やや少なく、細砂を含む。最大φ20mm程度の亜円～亜角礫主体。マトリックスは細～中砂。4.0～5.0mm間、粗砂・細礫主体で粒径不均一。	10/30 4.55	3.15	4	5	7	16/30				
154.85	1.85	7.35		玉石混じり砂礫	淡褐色			最大150mm程度の花崗岩礫・玉石密集。マトリックスは粗砂。含水量非常に多い。		4.15	16	17	17	50/28				
154.40	0.45	7.80		シルト岩	暗灰			風化部はほとんど見られず、短棒状コアとなる。		4.43	11	12	27/9	50/29				
151.97	2.43	10.23		細粒砂岩	暗灰			送水掘りで棒状～柱状コアとなり、コア状態安定。粒径非常に細かく、シルト分含む。コアは手で折れにくい。		5.15	5.44	31	19/4	50/14				
										6.15	6.29	23	24	3/1	50/21			
										7.15	7.36	17	17	16/3	50/23			
										8.15	8.38	17	26	7/1	50/21			
										9.15	9.36	50/8		50/8				
										10.15	10.23							

